



ながしまサマースクール ながしまの夏を満喫



東神楽町（北海道）との青少年交流事業が、7月27日から30日の日程で開催され、同町から本町に訪れた小学6年生、16人の児童が本町の同世代の子どもを持つ家庭にホームステイし、夏を満喫しました。

これは、「花のまちづくり」をキーワードに町づくりを進めている本町と同町が平成24年から実施している事業です。直線距離で約1600メートル離れた地域で、たくさんの経験をとおして、児童らに成長してもらうことを目的としています。

27日、児童らは、ホームステイ先にあいさつを済ませ、夜は夏まつり納涼大会に参加するなどして、家族との交流を楽しみました。

翌28日は、内陸にある同町では、あまり経験することがない海水浴やマリンスポーツを楽しみ、29日、薄井漁港で水揚げされるブリの出荷状況を見学後、本町の児童らと一緒に船に乗って魚釣り体験やバナナボート、サップ体験などを行い、両町の親交を深めました。

お別れ会では、東神楽町の児童らが「楽しい夏になった。来年の冬は東神楽町で、長島町のみんなを待ってる」と元気よくあいさつしました。

より持続可能な社会へ



7月22日、サントリーグループと本町で「ボトルtoボトル」水平リサイクルに関する協定を締結しました。同グループは、化石由来原料の新規使用をゼロにする「ペットボトルの100%サステナブル化」を目標に掲げ、活動しています。

使用済みボトルを新たなボトルに生まれ変わらせる水平リサイクルは、原料からのボトル製造に比べてCO2を約60%削減でき、本協定により、従来の分別排出を行うことで、日常的にサステナブルに貢献することができま

令和6年度戦没者追悼式 平和な日々を大切に



7月23日、令和6年度長島町戦没者追悼式が町文化ホールで執り行われました。

式には、遺族のほか、町関係者など約40人が参列し、戦没者に対して黙とうが行われました。追悼の言葉では、終戦から79年が経過し、戦争によってたらされた悲しみと苦しみを忘れてはならないと述べられ、献花台に花が手向けられました。

遺族会会長の濱畑順一さん（小浜）は「私達が享受している平和な日々の喜びの陰には、尊い殉国の犠牲が秘められていることを忘れません」と語りました。